

大会日程

第75回 滋賀県中学校夏季総合体育大会 バレーボール競技

7月28日（木）

会 場 《男子》 守山市民体育館（2面）
《女子》 YMITアリーナ（4面）

役員集合 8：00

開 館 第1, 2試合 8：30、第3試合以降 12：30（開館後フリー）
※開館10分前から2階観客席への入場可能

合同練習 第2試合のチーム 8：40、第4試合のチーム 12：40
第1試合のチーム 8：50、第3試合のチーム 12：50

プロトコール 第1試合 9：00、第3試合 13：00

競技開始 第1試合 9：11、第3試合 13：11

7月30日（土）

会 場 守山市民体育館（男女）

役員集合 8：00

開 館 9：00（開館後フリー） ※8：50から2階観客席への入場可能
※第4試合のチームの開館は13：30

合同練習 9：10 第1試合のチーム
※第4試合のチームはネット調整後10分間の合同練習

プロトコール 9：20

競技開始 9：31

男子準決勝

- ・女子準決勝が早く終了したコートからネット調整を行う。ネット調整中は、パス程度の練習のみバックゾーンの使用を認める。ネット調整終了後、10分間の合同練習とする。

女子決勝

- ・男子準決勝が早く終了したコートのネット調整を行う。ネット調整中は、パス程度の練習のみバックゾーンの使用を認める。ネット調整終了後、5分間の合同練習とする。

競 技 上 の 注 意 事 項

1. 本大会は、2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm・女子2m15cmとする。使用球は、検定4号球男子ミカサV400W、女子モルテンV4M5000とする。
2. 競技方法は、単純トーナメント方式とする。試合は、3セットマッチ（ただし、3セット目は15点）とし、3位決定戦は行わない。
3. 開始式および閉会式は行わない。
4. 参加申込書に記載した監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は認められない。ただし、申込書の選手18名の中から12名を試合毎にエントリーするものとする。原則として競技者番号の変更は認めない。ただし、ユニフォームが欠番している時、当事者のみ番号変更は認める。登録は構成メンバー票の提出で代替することとする。
5. 公式練習時間は、合同で6分間とし、申し出のあった場合は各チーム3分間とする。また、試合前に5分間の合同練習を認める。公式練習に際しても、有効な構成員16名（部長・監督・コーチ・マネージャー・選手12名）以外の者がフロアーおよびコートに入ることを禁止する。ただし、合同練習では安全確保のため有効な構成員以外の者がフロアーおよびコートに入り練習を補助することを認める。
6. 試合が連続する場合は、10分以内の休憩をとる。その間はパス程度の練習を認める。（合同練習は、この時間に含まれない。）
7. セット間・タイムアウト中に、次試合のチームはコート内およびフリーゾーンで練習を行わない。
8. 審判員・生徒役員の分担は、大会役員の指示に従うこと。第1日目の午前および午後の1試合目の審判については、それぞれ2試合目のチームが行うものとする。2試合目以降については、前試合の敗者チームが行うものとする。
2日目の第1試合の審判については、第2試合のチームが行うものとする。
9. 今大会はWTOを適用する。
10. セット間、タイムアウト、WTOにのみ、ウォームアップエリアやベンチ周辺において、団扇の使用を認める。団扇の大きさに規定はないが、極端に大きなものは使用しない。装飾としての使用は認めない。
11. 大会参加者は、言動等についてふさわしいマナーを守ること。
12. 監督、コーチ、マネージャーの服装は統一された服装（襟のないシャツ、短パン、ハーフパンツは不可とする）が望ましい。2日目においては、統一された服装とする。ただし、マネージャーが生徒の場合は除く。
13. 鳴り物・メガホン等不要物のベンチへの持ち込みを禁止する。
14. ベンチ内の持ち込み物について、試合進行に関わりが無いものを露出することを禁ずる。作戦に関するものは、基準に当てはまる物は持ち込みを許可する。〈監督・コーチ・マネージャーのみが常時携帯でき、速やかに危険回避できること。素材が安全なもの（紙・プラスチック）。大きさは使用時の最大がA3版以内であること。〉電子機器（スマホ・タブレット・PC・無線端末）等の使用は禁ずる。
15. 各チーム消毒用アルコールを持参し、チェンジコートの際にはベンチを消毒してから移動すること。
16. 選手のソックスはくるぶしの隠れるものを着用すること。
17. 本大会の1・2位チームは、第71回近畿中学校総合体育大会に推薦する。

審判上の注意事項

1. 本大会は、2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 監督はプロトコール前、キャプテンはトスの前に、記録用紙にサインを済ませる。
3. ウォーム・アップ・ゾーンを設ける。但し、ゾーン内でのボールの使用は禁止する。
4. セット間はフリーゾーンでボールを使用してもよいが、隣のコートの邪魔にならないように、パス程度のものとする。
5. 役員、相手チームのプレイヤーはもちろん、自チームのプレイヤーに対しても粗暴な行為や人格を損なうような言動は、慎まなければならない。
6. スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）
7. 試合中、ボールの交換を要求する場合、選手がファーストレフェリーまたはセカンドレフェリーに申し出ること。
8. ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールの処理は速やかに行うこと。
9. タイムアウトは、ベンチから立ち上がってコールしながらハンドシグナルを明確に示して要求すること。
10. モップでのワイピングについてはタイムアウト中、セット間に自チームで行うこと。ただし、ファーストレフェリー・セカンドレフェリーが危険であると判断した場合はモップを入れてワイピングする。
11. ワイピングは、コート内の選手が、自分の持っているハンドタオル等を用いて速やかに行うこと。
12. 構成メンバーは最大12名でリベロプレイヤーを含む。チームは、最大2名までのリベロプレイヤーを試合毎に登録できる。
13. ファーストレフェリーは教職員が行う。ただし、外部コーチが有資格者の場合は、ファーストレフェリーをすることができる。
14. セカンドレフェリーは、教職員および外部コーチで行う。
15. ホイッスルはマスクの下で吹笛を行う。また電子ホイッスルの使用を可とする。
16. 準決勝、決勝はパドルを使用する。
17. スクリーンの反則については、サービスヒットとボールのコースの両方をボールがネット垂直面に到達するまで隠すことでスクリーンとなる。サービスヒットまたは、ボールのコースがレシービングチームに見えるのであればスクリーンではない。（2022年度改正）
18. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。（2022年度改正）
19. 選手のポジションは、2022年度のルール改正により、コート面に接している両足の位置（最後にコート面に接触していた部分）により決定され、コントロールされる。

プロトコール（試合開始前・セット間及び試合終了後の手順）

《試合前》

	チ ャ ム	ファーストレフェリー・セカンドレフェリー
	両審判のネット等のチェック時は、ネットを使用せずウォームアップをすることができる。	両審判は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置やサイド・バンドの位置をチェックする。（スケールはセカンドレフェリーが持つ。）
11分前	チーム・キャプテンは、トスのため記録席に行く。トスに先立ち、記録用紙にサインを行う。	ファーストレフェリーは、セカンドレフェリーを立ち会わせて記録席前でトスを行う。セカンドレフェリーは、チーム・キャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
9分前	両チームが一緒か、または個別に公式ウォームアップを開始する。 ウォームアップはユニフォームで行う。 公式練習はエントリーメンバー以外は参加できない。	ファーストレフェリーは、公式ウォームアップ開始を合図する。ボール、スコア・シート、ブザー、ユニフォームなどのゲームに必要な用具をチェックする。ライン・ジャッジと打ち合わせをする。セカンドレフェリーは、公式ウォームアップの計時をする。
3分前	ファーストレフェリーの合図で、公式ウォームアップを終了する。	ファーストレフェリーは、公式ウォームアップ終了の合図をする。
2分前	ファーストレフェリーの合図で、エンドライン上で礼をする。 それぞれのチームはベンチに戻る。	審判役員はそれぞれの定位置につく。
1分前	ファーストレフェリーの合図で、スターティング・プレーヤーは、コートに入る。	ファーストレフェリーは、合図してプレーヤーをコート内に導き、セカンドレフェリー、記録員はそれぞれライン・アップを照合する。（このときリベロはコートに入らない）そして、セカンドレフェリーはボールを最初のサーバーに送る。
0分前		ファーストレフェリーは、第1サービスへの吹笛を行う。

《セット間》

	セット終了後、コート上のプレーヤーはエンド・ライン上に整列する。ファーストレフェリーの合図で向かって右側のサイド・ラインにそって進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに入る。	ファーストレフェリーは、チームがエンド・ラインに整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分 30秒後	セカンドレフェリーの合図により、エンド・ライン上に並ぶことなく、ベンチより直接コートに入る。	セカンドレフェリーは、記録員合図を受けて両チームにコートに入るよう合図する。直ちに、セカンドレフェリー・記録員はライン・アップを照合する。

《試合終了後》

速やかに	ファーストレフェリーの合図で、すべてのプレーヤーはエンド・ライン上に整列する。 ファーストレフェリーの合図で、エンドライン上で礼をする。そして、記録用紙にサインをする。チームは直ちにベンチから去る。	両チームのチーム・キャプテンを伴って記録席に行き記録用紙への記入を完了させる。
------	--	---